

## 第7次池田市総合計画（案）概要

総合計画とは、池田市が「住みやすい」「住んでみたい」「住んでよかった」と感じられるまちであり続けるために、めざすべき中長期的な将来像を描き、その将来像を実現するための基本的な目標や、必要となる施策を明らかにすることを目的とする計画です。

めざすまちの将来像の実現に向け、以下の4つのまちの将来イメージを設定します。そして、市民や事業者、行政がともに力を合わせてまちづくりを進めるために「SDGsの推進」、「みんなで取り組むまちづくり」、「持続可能な都市経営」の3つの視点をもって、まちづくりを推進します。

### まちの将来イメージ

#### ①価値を高め発信するまち

豊かな自然環境や地域の特性、そして特色ある産業などのまちの魅力を磨き上げ、池田市らしさが多くの人から発信されている。

住み心地が向上し、まちに対する市民の愛着が深まり、継続的に訪れるファンが増加している。

#### ②子どもと大人の未来を育てるまち

子育てや教育環境、そして生涯学習やスポーツの環境が整えられ、子どもも大人も生活に楽しみを感じ、未来に希望を持っている。

子どもが地域で見守られ、安心して子どもを生み育てられる環境が魅力となり、子育て世代から転入先として選ばれている。

#### ③いきいきと暮らし続けられるまち

みんなが健康に、いきがいをもって暮らし、多様な価値観や考え方を互いに認め合い、住み慣れた地域で、心豊かに生活している。

健康や福祉、医療などのセーフティネットが整うとともに、地域でお互いに支え合い、人々の個性が輝いている。

#### ④快適さを実感できる安全・安心なまち

市民が快適で便利に暮らせる基盤として、住環境、公共交通、上下水道などが整い、安全・安心で持続可能なまちづくりが実践されている。

自然災害などの危機に対しても、市民、事業者、行政それぞれが日頃から十分に備え、非常時には協働して対応している。